

平成28年度

社会福祉法人慈照会事業報告

通所介護事業
短期入所生活介護事業
訪問介護事業
居宅介護支援事業
介護老人福祉施設事業
ケアハウス事業
その他事業

平成28年度社会福祉法人慈照会事業報告

1. 総 括

我が国経済は、全般的には緩やかな景気回復傾向がみられる一方で、増税等による可処分所得の伸び悩みや負担増を心配する個人消費性向は払拭されず、また米国新政権への移行、英国EU離脱問題、アジア新興国の景気減速などによる海外経済の不確実性も懸念されており、先行き不透明な状況が続いている。

社会福祉法等の一部を改正する法律への対応について、情報収集、行政との連携により着実に進めた。経営組織のガバナンスの強化において、定款の変更、評議員選任・解任委員会を設置し新評議員を選任した。透明性の確保、財務規律の強化、地域における公益的な取組みを実施する責務への対応についても検討した。

前年度にて借入金の返済が完了し、備品の更新、修繕等を積極的に進めた。主な備品の更新等としては、業務用洗濯機1台、ケアハウス全エアコン、業務用テント8張、ナースコール設備一式、車両1台（スペーシア）、ボイラー1台（ガス給湯）、2か所の休憩室の整備を行った。

引き続き、社会福祉法人改革への対応を着実に進めるとともに、職場環境の整備、職員の確保定着の取り組みを積極的に進めたい。

重点目標の取組みについては以下の通りである

(1) 働きやすい職場づくりと人材の確保

求められる職務行動の浸透については、継続的に取り組んだ。ストレスチェック体制について、衛生委員会にて協議し、滋賀保健研究センター、産業医の協力により整備した。過重労働対策、ホームページによる情報発信は重要な課題として継続して取り組みたい。

(2) 職員教育体制の充実とキャリアパスへの取組み

新人事制度3年目となり、D o - C A Pシートによる目標管理、人事評価の定着を進めた。滋賀県介護職員研修受講支援事業費補助金の活用と法人補助により、3名が介護職員実務者研修を修了し、うち1名が介護福祉士を取得した。研修教育チームを中心に研修会を実施したが、キャリアパスに対応した内容としては課題が残る。

(3) 地域交流と貢献

東近江介護サービス事業者協議会会長、滋賀県介護サービス事業者協議会連合会役員として年間を通じて活動し、地域貢献とネットワーク強化を進め、新たな知識見識を提供した。東近江市の人材確保定着事業、第二次東近江市地域福祉活動計画策定委員会、新しい地域総合支援事業に参画した。認知症対応型通所介護において、地域密着型介護事業運営推進会議を実施した。三方よし研究会の施設開催、三方よし研究会の初任者研修への会場提供と講師派遣した。縁・支え合いの県民活動「福祉ボランティア体験事業プロジェクト」に参画した。

※【地域交流・貢献等】参照

2. 事業別報告

【通所介護事業】（定員：通常規模型30名、認知症対応型12名）

新規利用者は32名（昨年比86.4%）、一日平均利用人数は、通常規模型（予防含む）＋認知症対応型計28.4名（昨年比100%）となった。収入目標、通常規模型66,000,000円、認知症対応型10,000,000円は、合計額では達成した。

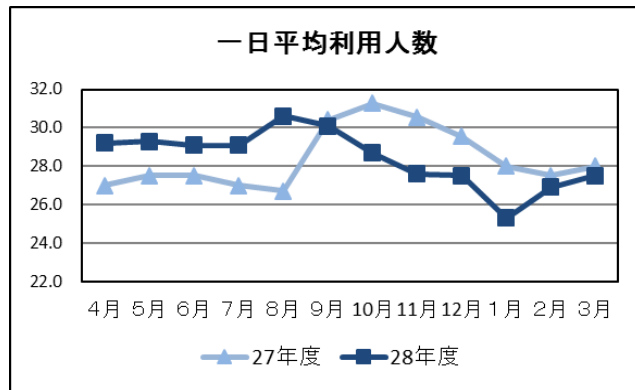
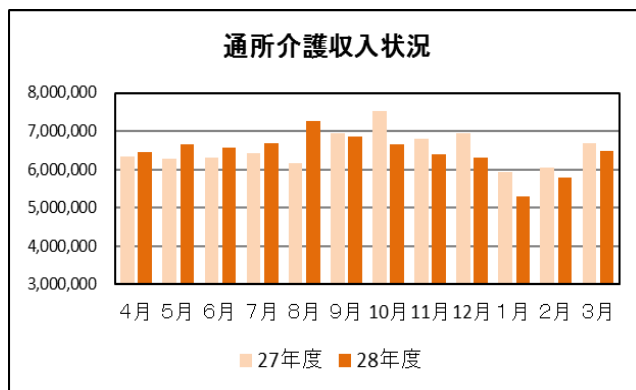
重点目標：ご利用者の残存機能の向上と生活の質の改善

リハビリ活動の確立と充実、個別機能訓練の実施により、日常生活動作の改善に取り組む。ご利用者のアセスメント、認知症ケアの充実も進める。

結果：ナースを中心に個別の専門的なりハビリを実施、ご利用者も積極的に取り組み、歩行等に改善が見られた。ただし、専門的なりハビリは、時間の制約により一部のご利用者のみになった。また、ナースのみの対応で他の職員での展開ができなかった。認知症ケアの充実については、利用者が少数であることもあり、取組み等が進まなかった。

利用状況

	営業日数	利用実人員	新規利用者	一日平均利用人数			
				介護予防	認知症対応型	通常規模	合計
4月	26	88	2	3.4	2.4	23.4	29.2
5月	26	90	3	3.6	2.5	23.2	29.3
6月	26	89	1	2.8	2.0	24.3	29.1
7月	27	89	4	3.4	2.0	23.7	29.1
8月	27	93	4	3.9	2.3	24.4	30.6
9月	26	91	0	3.8	2.0	24.3	30.1
10月	26	87	1	3.2	1.8	23.7	28.7
11月	26	87	2	4.0	1.8	21.8	27.6
12月	26	93	5	3.8	1.7	22.0	27.5
1月	24	93	2	3.7	1.6	20.0	25.3
2月	24	89	1	3.2	1.4	22.3	26.9
3月	27	94	7	2.6	1.3	23.6	27.5
年間	311	1083	32	3.5	1.9	23.0	28.4



【短期入所生活介護事業】（定員：16名）

緊急ショートを受け入れにより新規利用者は77名（昨年比163.8%）と大きく増えたが、一日平均利用人数は15.7名（昨年比97.5%）となり昨年を下回り、稼働率も100%を割る利用状況となった。4、5月の低迷が影響したこと、年間を通じて特養の入院者が少なかったことが要因である。収入目標82,000,000円は未達成であった。

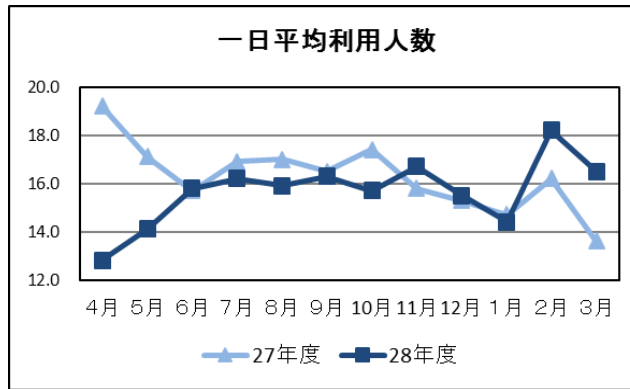
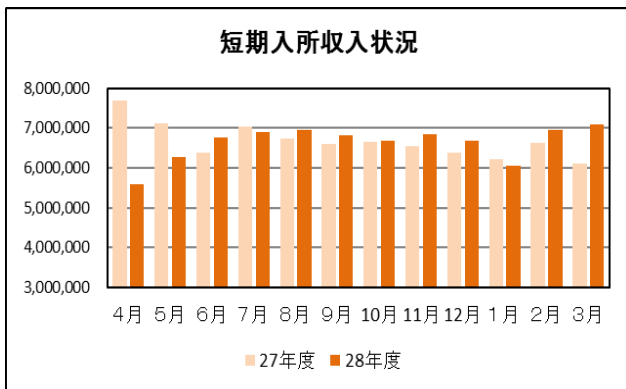
重点目標：ご利用者の過ごしやすい快適な生活空間の整備

ホール、居室、ベッド周り等職員全員が整理整頓に努める。また、生活空間の動線を考えた環境を整える。季節に応じた衣服の着用、室内の温度・湿度の管理、換気などを行い、ご利用者にとって生活しやすい環境を整える。

結果：ホール内はベッドや机の配置を変更し、ご利用者の見守りがしやすい空間を整えることができた。居室内は温度・湿度計を設置するとともに定期的な換気、消臭剤などを使用、トイレの手すり設置、整理整頓を行うことで快適な生活空間を作ることができた。ただ、職員同士で話し合う場が作れず、計画的に進まない部分もあった。

利用状況

月	新規利用者	利用実人員	一日平均利用人数	ベッド稼働率(%)
4月	4	65	12.8	79.8
5月	8	66	14.1	88.3
6月	7	75	15.8	98.5
7月	4	67	16.2	101.4
8月	8	74	15.9	99.6
9月	8	74	16.3	101.9
10月	8	79	15.7	98.6
11月	4	72	16.7	104.5
12月	8	78	15.5	96.6
1月	6	73	14.4	90.1
2月	7	77	18.2	113.8
3月	5	76	16.5	103.2
年間	77	876	15.7	98.1



【訪問介護事業】

新規利用者30件（昨年比68.1%）と減少したが、延訪問件数は13,257件（昨年比106.6%）と昨年を上回った。収入目標33,500,000円は達成した。

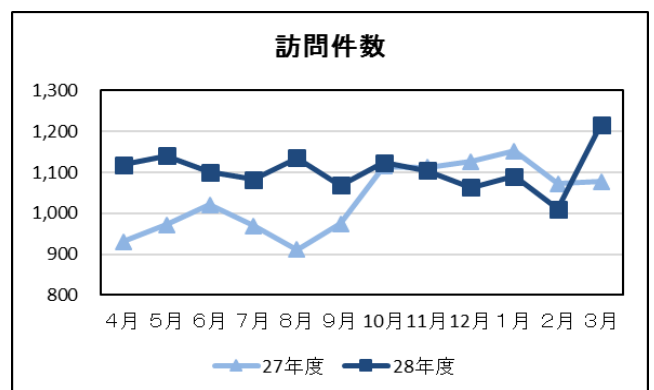
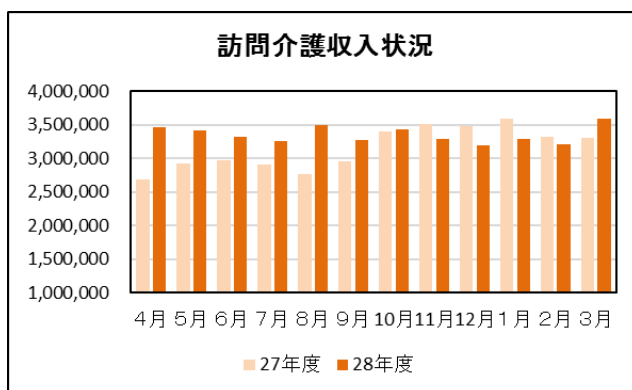
重点目標：ご利用者の人生の困難な時期に関わる意識を持ったサービスの提供

その人らしい生活を安心安全に過ごしてもらう。常にきめ細かく、心からのサービスに徹する。在宅での介護であり、ご利用者、ご家族に配慮した、静かで穏やかなサービスを提供する。

結果：新規依頼、入所、入院、休止、死亡などで利用者の入れ替わりも多い中、連絡を密に取り、ご利用者に迷惑のかからないよう努めた。新規利用者には重篤な方も多く、期間が短いケースもあった。ご利用者の状態の変化を見逃さないよう、気づきを大切にし、報告、連絡、相談を心がけた。

利用状況

月	予防		介護		予防+介護	
	利用実人員	延訪問件数	利用実人員	延訪問件数	利用実人員	延訪問件数
4月	18	94	54	1025	72	1119
5月	18	101	55	1040	73	1141
6月	17	93	55	1008	72	1101
7月	19	90	55	993	74	1083
8月	20	100	55	1035	75	1135
9月	21	114	52	955	73	1069
10月	21	106	54	1018	75	1124
11月	19	99	55	1005	74	1104
12月	19	103	50	960	69	1063
1月	19	82	50	1009	69	1091
2月	17	82	58	928	75	1010
3月	15	82	64	1135	79	1217
年間	223	1146	657	12111	880	13257



【居宅介護支援事業】

新規利用者が26件（昨年比92.8%）、年間プラン件数は1,102件（昨年比97.3%）と昨年を下回った。1月の職員1名の退職、特定事業所加算停止もあり、収入目標14,500,000円は未達成であった。

重点目標：地域包括ケアに対応していける事業所への移行

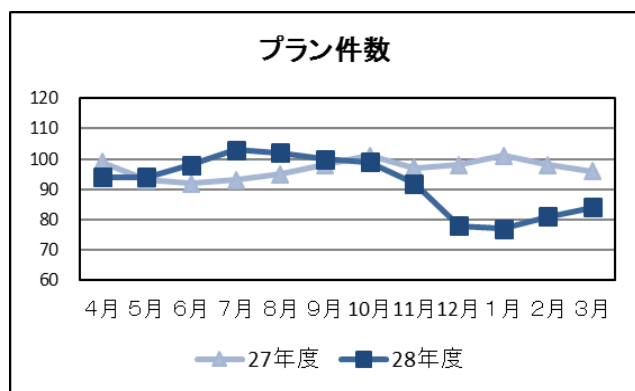
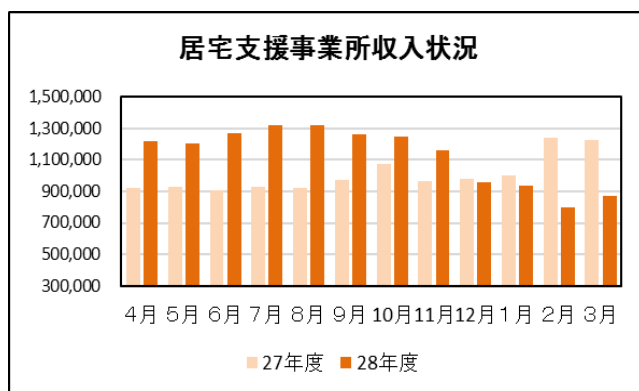
地域での支えと多職種での統合ケアが求められる中で、介護度に応じた、東近江市の実情に応じたアセスメント、ケアプラン作成を目指す。

結果：

特定事業所として会議を通じた情報共有に努めた。また、アローチャート勉強会や課題整理総括表の研修の学びを、プランに活かした。県介護支援専門員連絡協議会理事会や三方よし研究会等様々な活動に参画し、地域資源の発掘と多職種連携に努めた。

利用状況

月	新規利用	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	2	8	11	32	19	12	8	4	94
5月	4	7	13	29	21	13	8	3	94
6月	2	7	13	27	23	13	11	4	98
7月	4	9	13	30	22	14	12	3	103
8月	3	8	13	30	23	13	12	3	102
9月	1	8	13	31	24	13	8	3	100
10月	0	7	13	33	25	11	7	3	99
11月	1	6	13	30	24	10	6	3	92
12月	2	7	13	22	18	8	6	4	78
1月	2	5	14	24	17	8	6	3	77
2月	3	5	13	27	17	8	7	4	81
3月	2	5	13	24	18	12	8	4	84
年間	26	82	155	339	251	135	99	41	1102
月平均	2.2	6.8	12.9	28.3	20.9	11.3	8.3	3.4	91.8



【介護老人福祉施設事業】（定員：54名）

一日平均在居人数は、52.1名（昨年比100.9%）となり昨年を上回った。収入目標194,000,000円は達成した。

重点目標：生活環境の見直し、入居者個々の機能維持・向上を図りケガや事故のリスクを軽減
生活環境全体（個々のADL、居室・トイレ、公共スペース等）のアセスメントを実施し、生活の質の維持、向上に繋げることに重点を置き、ケガや事故へのリスク軽減を図っていく。

結果：生活環境の見直しに向け、ヒヤリハットの記入を促進し、前年に比べ大きく件数が増加したが、日頃の観察不足や職員間での情報共有の不足が要因となり、継続的に生活を見直す情報として生かすことができなかった。重大事故については会議での振り返りを行ったが、下半期に入り十分な振り返りができず、改善に向けた対応の統一には至らなかった。

平成29年3月31日現在

入退居状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
入居	1	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	5
退居	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	4
在籍者数	54	55	54	54	53	55	54	54	54	54	54	54	54
在居人数	51.8	51.9	53.3	53.3	52.9	52.0	51.3	51.6	52.6	51.6	51.3	52.0	52.1

入居者在居期間

	男性	女性	平均
平均在居期間	32.8ヵ月	54.8ヵ月	52.8ヵ月

在居期間	男性	女性	計	構成比(%)
1年未満	1	4	5	9.3
1年以上2年未満	1	5	6	11.1
2年以上4年未満	2	17	19	35.1
4年以上6年未満	0	16	16	29.6
6年以上8年未満	1	2	3	5.6
8年以上10年未満	0	1	1	1.9
10年以上	0	4	4	7.4
合計	5	49	54	100.0

入居者年齢状況

	男性	女性	全体
最高年齢	89	102	102
最低年齢	79	74	74
平均年齢	83.2	88.9	88.3

年齢	男性	女性	計	構成比 (%)
70～74歳	0	1	1	1.9
75～79歳	1	2	3	5.6
80～84歳	2	8	10	18.5
85～89歳	2	15	17	31.4
90～94歳	0	12	12	22.2
95～99歳	0	8	8	14.8
100歳～	0	3	3	5.6
計	5	49	54	100.0

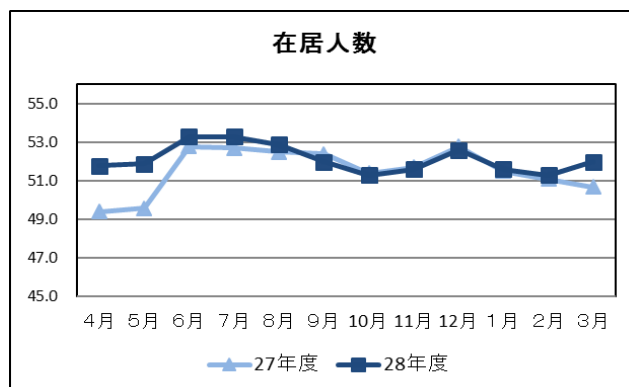
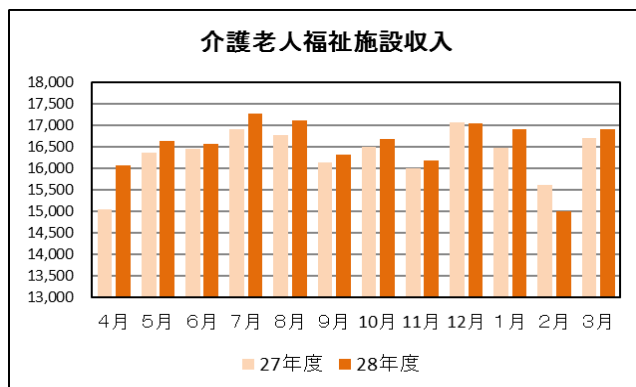
要介護度別入居者状況

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
入居者数	5	9	13	17	10	54
構成比 (%)	9.3	16.7	24.1	31.4	18.5	100.0

平均要介護度 3.33

待機者数

要介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
人数	5	10	89	93	50	247
構成比 (%)	2.0	4.1	36.0	37.7	20.2	100.0



【ケアハウス事業】（定員：15名）

年間を通じて、2名の入居、2名の退居であったが、満床維持は出来なかった。施設見学者は11名、申込は2名であった。

重点目標：外部広報活動強化による入居可能待機者の確保と満床確保

様々な取り組み（生活リハビリ、体操、趣味活動、計算ドリル、行事の充実、メンタルケア等）を実施し、残存機能の活用、心体維持により、活気ある生活を送ってもらう。心地よい住環境の追及、宣伝活動（ホームページ、広報誌等）、職員スキルアップを待機者確保に結びつける。

結果：広報活動では、各ケアマネ事業所や市役所への口頭での広報に留まっている。問い合わせもあるが、入居するには難しいケースが多い。入居者については、体操や趣味活動、認知症予防に重点を置き、取り組みは出来たと考えている。各入居者のアセスメントを通じて職員のスキルアップに繋げると共に、ADLを十分に理解し、必要最低限の支援に留め、出来る限りご自身でしてもらうように努めた。

平成29年3月31日現在

入退居状況（新規入居者 2名 退居者 2名 内訳：1名長期入院、1名死去）

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
入居	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
退居	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2
入居者数	15	15	15	15	15	15	14	14	13	14	14	14	—

平均入居年数 男性 3年3ヶ月 女性 4年9ヶ月 全体 4年2ヶ月

入居者年齢状況

年齢	男性	女性	計	構成比 (%)
65～69歳	0	0	0	0.0
70～74歳	0	1	1	7.1
75～79歳	1	1	2	14.3
80～84歳	1	1	2	14.3
85～89歳	2	1	3	21.4
90～94歳	1	5	6	42.9
95～99歳	0	0	0	0.0
100歳～	0	0	0	0.0
合計	5	9	14	100.0

最高年齢 男性 91歳 女性 95歳

最低年齢 男性 80歳 女性 74歳

平均年齢 男性 87.3歳 女性 88.2歳 全体平均 87.8歳

入居者要介護度

介護度	自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
人数	4	3	1	4	2	0	0	0	14
構成比 (%)	28.6	21.4	7.1	28.6	14.3	0.0	0.0	0.0	100.0

待機者： 個室 4名 2人部屋 0組

3. その他事業

【配食サービス】

市の委託の減少、直接契約者の入院等による減少により、営業日数310日、食数976食（昨年比71.1%）、一日平均3.1食（昨年比70.4%）であった。

【委員会活動等】

（研修教育体制チーム）会議開催数5回

施設内研修会を8回実施。新テーマとしてコミュニケーション研修（連続2回）を実施。

11月に職員月間MVPを実施。

（事故、苦情防止委員会）委員会開催数4回

月間の事故、苦情分析を周知。9月に事故防止強化月間を実施。リスクマネジメント研修2回、交通安全DVD研修を実施。

（環境整備委員会）委員会開催数6回

環境整備として、エアコンフィルター清掃、除草作業、窓ふきの計画実施。感染症予防として、施設内ポスター掲示。職員交流会として、新人職員歓迎ボーリング大会、夏祭り打ち上げ、法人忘年会の企画実施。

【月間MVP】

お互いを認め合う職場づくりとして月間MVPを実施。

テーマ「褒めたい職員」 期間：11月1日～30日

最優秀者4名 最多投票者1名表彰

【衛生委員会】

9月にメンタルチェック体制を協議、周知し、10月にメンタルチェックを実施した。

4月	年間計画及び議題について	10月	腰痛予防について
5月	福利厚生について	11月	感染症対策について
6月	食中毒について	12月	健康管理について
7月	熱中症について	1月	施設内環境について
8月	食生活について	2月	過重労働対策について
9月	メンタルヘルスについて	3月	交通安全について

【消防・防災】

総合訓練2回（うち消防署立会1回）、夜間想定訓練2回、業者による消防設備点検2回を実施した。

【職員研修】

外部研修及び会議に延208名を派遣するとともに、施設内研修会を実施した。

※施設内研修会

実施日	テーマ	講師	参加者数
4月1～6日	新人職員入社時研修	法人職員	2名
5月15日	普通救命講習	東近江行政組合八日市消防署救急係	20名
6月28日～7月6日	食中毒予防DVD研修		72名
7月11日	コミュニケーション研修Ⅰ	株式会社ツクイ 中川清隆氏	27名
8月22日	リスクマネジメント研修Ⅰ	クローバー 中村真理氏	26名
9月1日～10日	交通安全DVD研修		74名
9月28日	人権学習会	青地弘子氏	20名
10月26日	コミュニケーション研修Ⅱ	株式会社ツクイ 中川清隆氏	21名
11月29日	感染症予防について	サラヤ株式会社スタッフ	25名
3月15日	職業倫理と身体拘束・虐待	滋賀県介護福祉士会 村田美穂子氏	17名
3月29日	リスクマネジメント研修Ⅱ	クローバー 中村真理氏	17名

【地域交流・貢献等】

初めて三方よし研究会を施設にて開催。今年度より認知症対応型通所介護の運営推進会議を実施。三方よし研究会主催の介護職員初任者研修(約6ヶ月)に、会場提供、講師派遣により協力。その他地域行事を実施、行事への参加、各種団体との交流を進めた。

日付	内容	参加者数
6月23日	建部幼稚園交流会	54名
7月5日	建部民協会議	12名
8月18日	三方よし研究会	90名
8月28日	カルナ納涼夏祭り	345名
9月25日	建部あったかネット訓練	137名
10月1日	建部幼稚園運動会	5名
10月2日	カルナ敬老会	200名
11月1日	第1回認知症対応型通所介護運営推進会議	7名
11月7日	建部幼稚園交流会	45名
3月21日	第2回認知症対応型通所介護運営推進会議	7名

【講師派遣、事例発表等】

日付	内容	派遣・参加人数
8月18日	三方よし研究会	1名
9月10日	外国人介護職員初任者研修「介護保険」	1名
10月15日	ひがしおうみ見守りフォーラム	1名
1月22日	三方よし主催初任者研修「尊厳の保持と自立支援」	1名
2月4日	三方よし主催初任者研修「介護保険」	1名
3月11日	三方よし主催初任者研修「生活と家事、快適な居住環境整備と介護」	1名

【実習生、ボランティアの受け入れ】

学校等より18名の実習生を受け入れした。また、多くの団体、個人のボランティアの皆様にご支援とご協力を頂いた。

実 習
◇ 聖徳中学校 職場体験学習 2名 ◇ 滋賀学園高校 介護職員初任者研修・介護福祉現場実習 12名、 ◇ びわこ学院短大 介護福祉士養成コース 介護実習 2名 ◇ 外国人介護職員養成事業 介護職員初任者研修・施設実習 2名
ボランティア
<団体> ◇ すみれ会（大正琴） ◇ 公益社団法人顔と心と体研究会（リハビリメイク） ◇ ひまわり会（喫茶・敬老会） ◇ 杉の子会（夏祭り） ◇ 湖東信用金庫（夏祭り） ◇ 滋賀銀行（夏祭り） ◇ 中島商事（夏祭り） ◇ ワークホームズ（夏祭り） ◇ ライフテックミツダ（夏祭り） ◇ 株式会社大和（夏祭り） 株式会社アルティ（夏祭り） ◇ 建部民生児童委員（除草作業・夏祭り） ◇ 建部日本赤十字奉仕団（除草作業・窓拭き） ◇ NBC／ダイヤモンドクラブ（歌謡・パレエ） ◇ パドリング（オカリナ） ◇ ハウラ フラ オ カウイオナラニ（フラダンス） ◇ きぬがさ36バンド（バンド演奏） ◇ ぐるりの家（入居者交流） <個人> ◇ 大江昌巳様（ハーモニカ演奏） ◇ 江頭翼（歌謡） ◇ y o k k o様（敬老会・手話うたライブ） ◇ 松尾貴臣様（ホスピタルライブ）

4. 年間行事等

4 月	1日職員会議 18日第1回経営会議	10 月	2日カルナハウス敬老式典 7日入居者健康診断 11日職員健康診断・ストレスチェック 19日第7回経営会議 19日慈照会上半期打ち上げ 20日入居者インフルエンザ予防接種 27日職員インフルエンザ予防接種 31日第2回総合避難訓練
5 月	9日消防設備機器点検① 19日第2回経営会議 24日監事監査 25日評議員会、理事会（事業報告、決算） 26日第1回総合避難訓練（消防署立会い）	11 月	1日第1回認知症対応型通所介護運営推進会議 7～28日文化月間（展示） 9日消防署立入調査 10日消防設備機器点検② 10日滋老協研究大会（2名参加） 17日第8回経営会議
6 月	1日評価者会議 16日第3回経営会議 20日第1回夜間想定避難訓練	12 月	1日評価者会議 5日建部日赤窓拭き作業 19日第9回経営会議 21日法人忘年会
7 月	10日建部民協中庭剪定奉仕作業 19日第4回経営会議 20～21日近畿老人福祉施設研究協議会 京都大会（3名参加） 30日建部日赤除草奉仕作業	1 月	1日年賀式 18日第10回経営会議 21日～三方よし研究会介護職員初任者研修 26日評議員会、理事会（定款変更、評議員選任・解任委員会設置等）
8 月	18日三方よし研究会 17日第5回経営会議 28日カルナ納涼夏祭り 30日夏祭り打ち上げ	2 月	16日第11回経営会議 22日マグロ解体ショー
9 月	9日市、県実地指導 15日第6回経営会議 30日第2回夜間想定避難訓練	3 月	20日第12回経営会議 21日夜勤者健康診断 25日監事監査 27日評議員会、理事会（事業計画、予算） 27日評議員選任・解任委員会

※その他施設内会議

スタッフ会議（週1回） デイショート会議（月1回） ヘルパー会議（月1回）

居宅介護支援事業所会議（月1回） 特養会議（月1回） ケアハウス会議（月1回）

事務会議（月1回） 給食会議（月1回）